

XMLコンソーシアム

第 2 回 総 会

議 案 書

2002 年 6 月 5 日 (月)

於 東京コンファレンスセンター

目次

議案事項

第 1 号議案 2001 年度活動報告	
・ XML コンソーシアム組織	1-1
・ 役員構成	1-2
・ 活動実績	1-4
第 2 号議案 2001 年度収支報告	
・ 事業収支計算書	2-1
・ 貸借対照表・財産目録	2-2
・ 監査報告書	2-3
第 3 号議案 2002 年度事業 / 予算計画	
・ 2002 年度 運営方針	3-1
・ 2002 年度 主要活動計画	3-2
・ 2002 年度 予算計画	3-4
第 4 号議案 2002 年度 理事 / 監事選任	
・ 2002 年度 XML コンソーシアム役員構成	4-1
第 5 号議案 会員規約変更	
・ 特別会員制定の件	5-1
・ 成果物の知的所有権関連規定の件	5-1

添付資料

・ 2001 年度セミナー開催一覧	1
・ 2001 年度部会成果発表会一覧	3
・ 2001 年度部会開催一覧	4
・ 2001 年度普及度調査アンケート結果	6
・ 2002 年度 XML コンソーシアム組織	7
・ XML コンソーシアムにおける成果物の知的所有権関連規定	8
・ 2002 年度 部会活動計画	11
・ 2002 年度 会員会社一覧	19

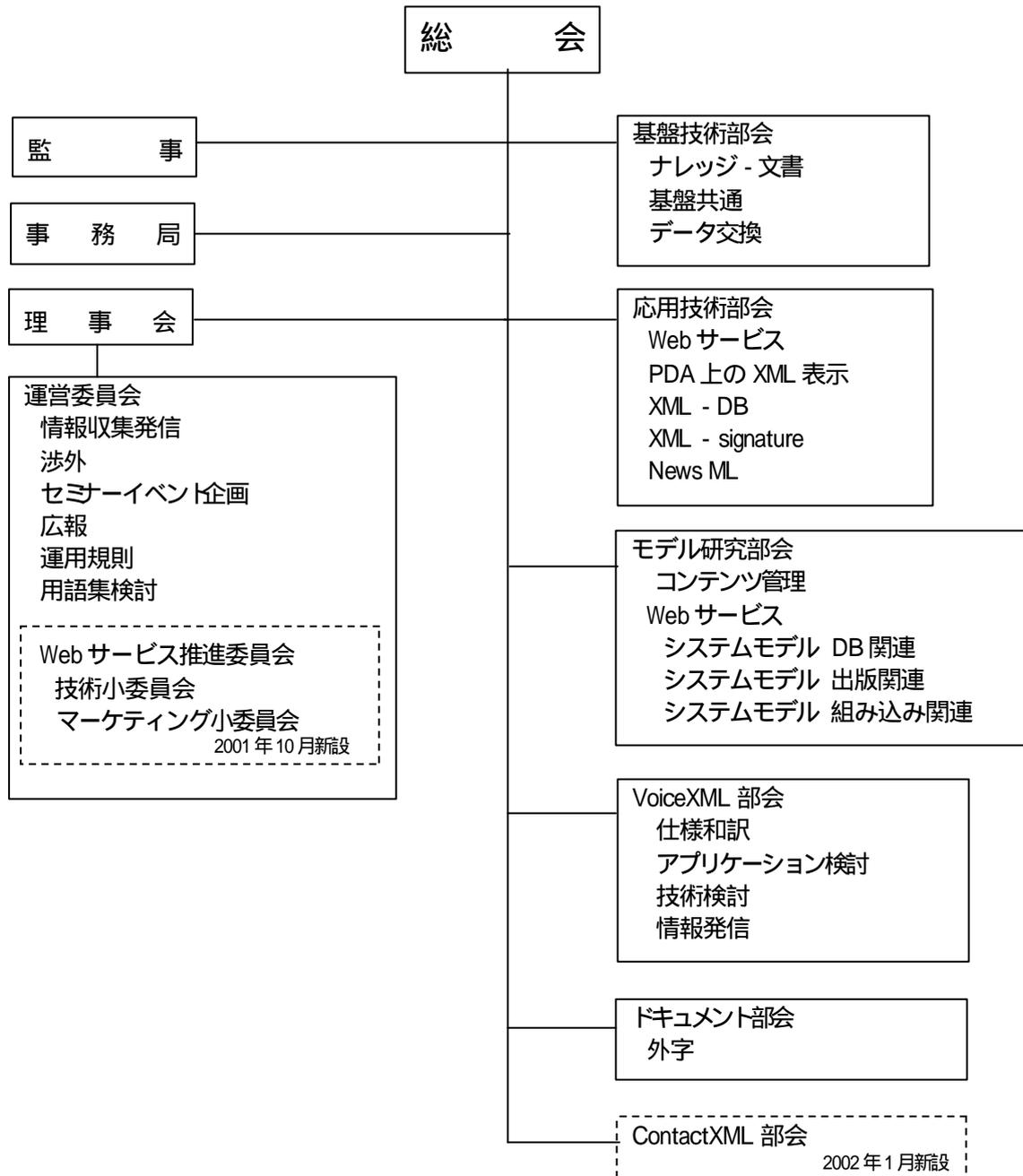
第 1 号 議 案

2001 年 度 活 動 報 告

XML コンソーシアム

1.2001 年度 XMLコンソーシアム組織 (2002 年 3 月 31 日現在)

XML コンソーシアム 組織体制



2.2001 年度 XML コンソーシアム役員構成

(敬称略・会社名順 2002 年 3 月 31 日現在)

【理事】

- 上野 守生 (ウエノ モリオ)
会社名: 亜細亜証券印刷株式会社
役 職: 代表取締役社長
- 下川 和男 (シモカワ カズオ)
会社名: イースト株式会社
役 職: 常務取締役
- 平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)
会社名: インフォテリア株式会社
役 職: 代表取締役社長
- Mark Batt (マーク バット)
会社名: 株式会社エーエスピー
役 職: 副社長 国際営業開発部担当
- 長野 宏宣 (ナガノ ヒロノブ)
会社名: NTTコムウェア株式会社
役 職: 取締役 BI 本部ビジネス企画部長
- 鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)
会社名: NTTソフトウェア株式会社
役 職: 代表取締役社長
- 山田 伸一 (ヤマダ シンイチ)
会社名: 株式会社NTTデータ
役 職: ビジネス開発事業本部 基盤システム事業部 事業部長
- 塩川 公男 (シオカワ キミオ)
会社名: 株式会社大塚商会
役 職: 取締役 Web 事業推進部
- 甲斐 英隆 (カイ ヒデタカ)
会社名: サン・マイクロシステムズ株式会社
役 職: 取締役 マーケティング・事業統括本部長
- 浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)
会社名: 株式会社ジャストシステム
役 職: 代表取締役専務
- 金成 元夫 (カネナリ ユキオ)
会社名: 東芝ITソリューション株式会社
役 職: 共通ソリューション第四部 担当部長
- 田原 春美 (タハラ ハルミ)
会社名: 日本アイ・ピー・エム株式会社
役 職: ソフトウェア事業部
エマーシング・テクノロジー 担当 部長
- 西岡 伸一 (ニシオカ シンイチ)
会社名: 日本オラクル株式会社
役 職: 常務取締役 執行役員
- 笠原 裕 (カサハラ ヒロシ)
会社名: 日本電気株式会社
役 職: NEC ソリューションズ 開発研究本部インターネット基盤開発本部
開発本部長
- 大鐘 久生 (オオガネ ヒサオ)
会社名: 日本ビューレット・パカード株式会社
役 職: ビジネスカスタマ事業統括本部 E-services 推進室 室長
- 丸山 修 (マルヤマ オサム)
会社名: 日本ユニシス株式会社
役 職: 執行役員 E テクノロジ&サービス部長
- 小塚 潔 (コヅカ キヨシ)
会社名: 株式会社日立製作所
役 職: ソフトウェア事業部 エグゼクティブプロジェクトマネージャ
- 山本 章治 (ヤマモト ショウジ)
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役 職: 常務取締役 開発事業部 事業部長
- 浜 文男 (ハマ フミオ)
会社名: 富士ソフトABC 株式会社
役 職: 専務取締役
- 弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)
会社名: 富士通株式会社
役 職: プロジェクトA-XML プロジェクト長
- 三ヶ野原 敏郎 (ミカノハラ トシロウ)
会社名: マイクロソフト株式会社

役 職： 執行役員 社長室

【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会 社 名： 株式会社ジャストシステム
役 職： 社長室 部長
水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会 社 名： ピーシーエー株式会社
役 職： 開発技術担当 CTO

会 長
NTTソフトウェア株式会社 鶴保 征城
副会長
インフォテリア株式会社 平野洋一郎
日本アイ・ピー・エム株式会社 田原 春美
事務局長
富士ソフトABC 株式会社 田中 一彦

運営委員会
イースト株式会社 下川 和男
インフォテリア株式会社 平野洋一郎
株式会社エーエスピー Mark Batt
鶴澤 幹夫
NTTコムウェア株式会社 平野 光徳
NTTソフトウェア株式会社 村田 憲司
奥山 信輔
株式会社NTTデータ 遠城 秀和
株式会社大塚商会 岡部 恵造
都志 陽介
日本アイ・ピー・エム株式会社 田原 春美 (運営委員会議長)
武用 佳哲
日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏
鈴木 潤一
日本電気株式会社 松田 修一
杉山 高弘
日本ユニシス株式会社 阪口 喜好
藤城 雄二
株式会社日立製作所 坂川浩二郎
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
田村 実
富士通株式会社 松下 嘉哉
マイクロソフト株式会社 熊谷 恒治

3.2001 年度 活動実績

1. 会員数 : 250 会員

・2001 年 6 月 18 日 101 社
 ・2002 年 3 月 31 日 232 社
 ・2002 年 5 月 31 日 239 社 (入会申請中 2 社)

2. 活動実績

(1) 設立総会開催 (第 1 回総会)

開催日時 2001 年 6 月 18 日
 開催会場 東京コンファレンスセンター(東京 飯田橋)
 総会参加 117 社 212 名

(2) 理事会及び運営委員会開催

理事会 : 年次
 2 回 開催
 2001 年 6 月 18 日 2001 年 12 月 25 日 (臨時)

・運営委員会 : 月次

21 回 開催

2001 年 10 月 30 日	2001 年 6 月 26 日	2002 年 3 月 14 日
2001 年 11 月 27 日	2001 年 7 月 24 日	2002 年 4 月 11 日
2001 年 12 月 25 日	2001 年 8 月 1 日	-----
2001 年 4 月 24 日	2001 年 8 月 28 日	2002 年 5 月 9 日
2001 年 4 月 9 日	2001 年 9 月 17 日	2002 年 5 月 20 日
2001 年 5 月 15 日	2001 年 9 月 25 日	2002 年 5 月 27 日
2001 年 5 月 29 日	2002 年 1 月 29 日	
2001 年 6 月 12 日	2002 年 2 月 14 日	

・Web サービス推進委員会 : 月次 (2001 年 10 月設置)

8 回 開催

2001 年 11 月 13 日	2002 年 1 月 29 日	-----
2001 年 11 月 27 日	2002 年 2 月 14 日	2002 年 4 月 11 日
2001 年 12 月 25 日	2002 年 3 月 14 日	2002 年 5 月 9 日

(3) セミナー開催 : 10 回以上

・月例セミナー 8 回 開催
 ・特別セミナー 1 回 開催

参加人数 会員 : 695 社 1203 名
 非会員 : 222 社 261 名
 合計 : 917 社 1464 名

添付資料 2001 年度セミナー開催 参照

(4) 部会活動成果発表

・中間成果発表会 (XML コンソーシアム Day) : 2 回開催
 2001 年 11 月 22 日
 2002 年 2 月 6 日

参加人数 会員 : 174 社 367 名
 非会員 : 85 社 93 名
 合計 : 25 社 460 名

添付資料 2001 年度部会成果発表会開催

部会成果発表会 (XML コンソーシアム Week)

2002 年 5 月 27 日 ~ 6 月 14 日 計 6 日間 (現在開催中)

(5)啓蒙・広報・宣伝活動 : XML コンソーシアム エバンジェリストの選任 5 名以上

・エバンジェリスト 6 名選任

株式会社大塚商会	岡部 恵造 様
沖電気工業株式会社	藤岡 慎弥 様
株式会社シナジー・インキュベート	菊田 昌弘 様
株式会社ジャストシステム	野村 直之 様 (法政大学エクステンションカレッジ)
日本アイ・ビー・エム株式会社	丸山 宏 様
日本ユニシス株式会社	小林 茂 様

(6)外部団体との協業関係

アライアンスパートナー XBRLJapan

(7)部会活動

部会メンバー登録状況 総数 311 社 570 名

基盤技術部会	61 社	108 名
応用技術部会	66 社	118 名
モデル研究部会	64 社	124 名
VoiceXML 部会	49 社	104 名
ドキュメント部会	59 社	95 名
ContactXML 部会	12 社	21 名

部会リーダーミーティング 月次

2001 年 7 月 30 日	2001 年 11 月 1 日	2002 年 4 月 9 日
2001 年 8 月 27 日	2001 年 11 月 20 日	2002 年 4 月 30 日
2001 年 9 月 3 日	2002 年 1 月 8 日	2002 年 5 月 9 日
2001 年 9 月 21 日	2002 年 3 月 6 日	
2001 年 10 月 3 日	-----	

部会開催

(基準開催日)

基盤技術部会	9 回	(毎月第 3 木曜日)
応用技術部会	10 回	(毎月第 4 木曜日)
モデル研究部会	9 回	(毎月第 3 金曜日)
VoiceXML 部会	6 回	(毎月第 2 水曜日)
ドキュメント部会	5 回	(毎月第 4 水曜日)
ContactXML 部会	1 回	(不定期)

添付資料 2001 年度部会開催 参照

(8)HomePage 更新 日次

- ・2001 年 6 月 18 日 開設
- ・2002 年 1 月 1 日 デザインリニューアル
- 日時 (随時)更新
- ・月例セミナー等開催案内
- 部会開催案内
- ・XML ステータス・レポート更新

協賛 後援イベント案内掲載

(9)メーリングリスト

設置数 47

登録者総数 3200 名以上

infomation@xmlconsortium.org (会員会社代表者、連絡担当者向け)

配信数 79

xmlmem-info@xmlconsortium.org (会員会社情報発信用)

配信数 29

xmlnews@xmlconsortium.org (配信希望者向け 登録者数 753 名 6/3 現在)

配信数 72

その他のメーリングリスト

部会関連 28

理事会/運営委員会関連 16

(10)外部セミナーへの講師派遣

・第6回SGML/XML研修フォーラム 電子政府と市民生活を考える」2001年10月29日・30日
XMLコンソーシアム運営委員 鈴木 俊宏氏 (日本オラクル)

・四国経済産業局 「XML入門」2001年11月27日
エバンジェリスト 小林 茂 氏

・四国経済産業局 「XMLの動向」2002年1月23日
エバンジェリスト 小林 茂 氏

・UML Forum/Tokyo IDG社 2002 2002年3月26・27日
エバンジェリスト 小林 茂 氏

・The Web Services Japan 2002 2002年5月15日・16日
パネルディスカッション Webサービス技術編
モデレータ :Webサービス推進委員会 鈴木 俊宏 氏
パネリスト :Webサービス推進委員会 富士通 松下 嘉哉 氏 他
パネルディスカッション Webサービス ビジネス編
パネリスト : エバンジェリスト 岡部 恵造 氏 他

・XML World Conference 特別講演 2002年5月21日・22日
エバンジェリスト 岡部 恵造 氏
エバンジェリスト 菊田 昌弘 氏
エバンジェリスト 小林 茂 氏
エバンジェリスト 野村 直之 氏
エバンジェリスト 藤岡 慎弥 氏

(11)外部主催イベントに対する協賛/後援

2001 XML JAPAN
会期 2001年11月8日～9日
会場 :青山テピア
主催 :サンブリッジ
協賛 :XMLコンソーシアム

情報処理学会 第31回デジタル・ドキュメント研究会
会期 2001年11月30日
会場 :情報処理学会 学会会議室 (芝浦)
主催 :情報処理学会 デジタル・ドキュメント研究会
協賛 :XMLコンソーシアム

XBRL Japan 第2回シンポジウム ~ 地球規模で進展するXBRL ~
会期 2001年12月14日
会場 新・公認会計士会館
主催 XBRL Japan・日本公認会計士協会
協賛 XMLコンソーシアム

デジタルドキュメントシンポジウム2002
会期 2002年2月1日
会場 工学院大学
主催 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
協賛 後援 XMLコンソーシアム

UML Forum / Tokyo 2002
会期 2002年3月26日 ~ 27日
会場 東京ファッションタウンTFTホール
主催 OMGジャパン、ビジネスオブジェクト推進協議会、IDGジャパン
後援 XMLコンソーシアム
入会案内配布 (200部)

The Web Services Japan 2002
会期 2002年5月15日 ~ 16日
会場 パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい)
主催 日経コンピュータ、日経オープンシステム、日経インターネットテクノロジー、
日経Windowsプロ
後援 XMLコンソーシアム
全体企画およびコンテンツに関するアドバイザー：
XMLコンソーシアム副会長 田原 春美 氏
入会案内配布 (900部)

ICe Tokyo 2002 (ICe. INTERNET COMMERCE EXPO)
併催 XML World Conference
会期 2002年5月21日 ~ 22日
会場 ロイヤルパークホテル (東京 水天宮)
主催 株式会社 IDGジャパン
後援 XMLコンソーシアム
入会案内配布 (1,000部)
展示会無料招待券を会員に送付。

(12)プレス・リリース

・2002年6月18日 「XMLコンソーシアム本格活動を開始」
・2002年10月12日 「200社突破」
・2002年10月12日 「Webサービス推進委員会設置」
・2002年11月30日 「XBRL Japan とXMLコンソーシアム協業」

(13)プレス取材・執筆依頼

・マルチメディア総合研究所
XMLコンソーシアム副会長 田原 春美 氏
XMLコンソーシアム副会長 平野洋一郎 氏
情報産業新聞社
XMLコンソーシアム運営委員会委員 岡部 恵造 氏

- ・日本セキュリティ情報サービス 「セキュリティ研究」
XMLコンソーシアム副会長 田原 春美 氏
- 時事通信社 「Webサービス推進委員会取材」
Webサービス推進委員会委員長 岡部 恵造 氏
- ・Tech B-ing 「XML技術者の市場価値」
XMLコンソーシアム 副会長 平野洋一郎 氏
- 翔泳社 (XML Magazine/XML Magazine 2001 Winter) 「XML対応ツールを検証する」
XMLコンソーシアム 副会長 平野洋一郎 氏
- ・BCN (ビジネス・コンピュータ・ニュース)社 「XMLコンソーシアム会長インタビュー」
XMLコンソーシアム会長 鶴保 征城 氏
副会長 田原 春美 氏
平野 洋一郎 氏
- PCWebzine 「ITスタンダード通信」
XMLコンソーシアム広報委員 鈴木 俊宏 氏
ContactXML部会リーダー 吉政 忠志 氏

(14)アンケート実施

「XML普及度調査アンケート」2002年4月1日～30日実施 (別紙参照)

第 2号議案

2001 年度 収支報告

XMLコンソーシアム

収支計算書

	予算	実績	備考
1.収入の部		(単位:円)	
前年度発起人会社 活動支援金繰越	960,954	960,954	
年会費	20,000,000	20,450,000	100,000×186 社 50,000×37 社
発起人会社活動支援金	4,200,000	4,200,000	200,000×21 社
雑収入		345,542	
収入の部 合計	25,160,954	25,956,496	
2.支出の部			
総会開催費	2,500,000	2,375,138	設立総会/理事会:会場費、設備費等
月次セミナー費	700,000	1,003,559	
成果発表会開催費	1,000,000	929,971	
ホームページ 初期デザイン料	1,000,000	1,097,250	
ホームページ運用費	180,000	119,700	
部会支援金	4,500,000	97,350	各部会の活動支援金
広告宣伝費	0	0	
業務委託費	10,000,000	10,000,000	事務局業務委託費用
地代家賃	2,116,800	0	
通信費・車両運送費	1,200,000	292,939	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	240,000	32,100	
事務消耗品費	1,200,000	935,981	コピー機保守(カウンタ)費用、事務用品 費用等
雑費	510,000	311,639	コピー機リース費用、 振込手数料、 書籍/ソフトウェア購入費用
予備費	14,154	0	
当期末繰越資金		8,760,869	
支出の部 合計	25,160,954	25,956,496	

貸借対照表

平成 14 年 3 月 31 日現在 (単位 :円)

科 目	金 額
・ 資産の部	
現金 預金	8,430,278 (現金 0 円 預金 8,430,278 円)
未収入金	300,000
前払金	235,273
流動資産合計	8,965,551
資産合計	8,965,551
・ 負債の部	
未払金	4,682
前受金	200,000
流動負債合計	204,682
負債合計	204,682
・ 正味財産の部	
正味財産	8,760,869
資産合計	8,760,869
負債及び資本含む 財産合計	8,965,551

財産目録

科 目	細 目	金 額
・ 債 権		
普通預金	東京三菱銀行二俣川支店	8,429,278
	UFJ銀行錦糸町支店	1,000
未収入金		300,000
前払金		235,273
・ 債 務		
未払金		4,682
前受金		200,000

監 査 報 告 書

平成14年4月19日

XMLコンソーシアム
会 長 鶴 保 征 城 殿

監 事

株式会社ジャストシステム

早瀬 雅之 

ピーシーエー株式会社

水谷 学 

私監事は、XMLコンソーシアム規約第31条に基づき、平成13年4月1日より平成14年3月31日までの2001年度における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

記

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査の為、帳簿並びに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

第 3号議案

2002 年度 事業 / 予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

1.2002 年度 運営方針

1) 基本方針

目的：

「日本におけるXML ならびにWeb サービスを利用したシステムやサービスの普及・標準化・啓蒙を促進する。」

重点課題：

- ・XML・Web サービス技術を基盤とする業界ソリューションのための普及啓蒙・促進を展開する。
- ・システム提供者側と利用者のコミュニケーションの場を提供する。

継続課題：

- ・XML・Web サービス技術を利用した製品開発、システム構築およびサービス事業を促進する。
- ・国内外へのXML・Web サービス関連の情報発信基地を目指す。
- ・XML・Web サービス普及促進のための人的あるいはビジネスのネットワーク拠点を狙う。

重点成果：

- ・ビジネスの拡大

継続成果：

- ・開発者・利用者の拡大
- ・対応製品の増加
- ・システム構築事例の増加

2) 新年度の重点施策：

- ・XML・Web サービス開発者・利用者の拡大
 - 東京以外の地域的活動への協力・支援
- ・部会活動の活性化、XML・Web サービス エキスパートの育成
 - XML・Web サービス技術を利用する業界ソリューション構築の為に標準化の場を形成
- ・啓蒙・広報・宣伝活動の強化
 - 記事投稿の強化

継続施策：

- ・XML・Web サービス開発者・利用者の拡大
 - 月例セミナーにおける事例紹介、最新情報・動向紹介等
 - Home Page における製品紹介、最新情報紹介等
- ・部会活動の活性化、XML・Web サービス エキスパートの育成
 - 活動目標の明確化
 - 参加メンバーの増強
 - 成果発表会における活動成果の発表
- ・啓蒙・広報・宣伝活動の強化
 - 外部セミナーへの講師派遣の強化等
 - XMLステータス・レポートによる情報の提供

3) 全体活動目標

(1)会員数：300 社

(2)セミナー開催：10 回以上

月例 XML セミナー、関西セミナー、特別セミナー、XML 対応製品紹介セミナー等

(3)活動成果の発表：

成果発表会として 2 回

(4)啓蒙・広報・宣伝活動：

XML コンソーシアム エバンジェリストの選任 追加 5 名以上

2. 2002 年度 主要活動計画

(年次)

2002 年 6 月 5 日 第 2 回総会 理事会 記念セミナー 懇親会
2003 年 6 月 第 3 回総会 理事会 記念セミナー 懇親会

(月次)

運営委員会
部会リーダー・ミーティング
月例セミナー
部会別月例ミーティング
記事原稿執筆活動

(随時)

特別セミナー
取材協力
他団体との交流会、情報交換会等
HomePage 更新作業 (=日次)

(適宜立ち上げ)

ユーザー企業向け活動
XML ビジネス向け活動
東京以外での地域的活動

(特別行事 - コンソーシアム主催)

2002 年 6 月 5 日 2002 年度部会活動に関するご紹介
10 月 第 3 回部会中間成果発表会 (名称 :XML コンソーシアム Day)
2003 年 2 月 第 4 回部会中間成果発表会 (名称 :XML コンソーシアム Day)
2003 年 5 月 第 2 回部会成果発表会 (名称 :XML コンソーシアム Week)

注 :成果発表会を拡大、年 1 回「XML コンソーシアム Week」を主催する。

(特別行事 - 外部主催)

理事会承認にて適宜企画・実施

3 .2002 年度 予算計画

	予 算	備 考
収入の部		
前年度繰越金	¥8,430,278	
年会費	¥28,000,000	10万円×280社
収入の部合計	¥36,430,278	

支出の部		
総会開催費	¥5,600,000	総会/理事会： 会場費、設備費、特別セミナー関連費、配布資料印刷費用、臨時スタッフ費用等 280万円×2回(2002年6月5日、2003年6月)
月次セミナー開催費	¥1,000,000	配布資料印刷費用等： 10万円×10回(6月、6月を除く毎月)
成果発表会開催費	¥3,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、臨時スタッフ費用等： XMLコンソーシアム Week 100万円×2回(2002年5-6月、2003年5月開催) XMLコンソーシアム Day 50万円×2回(2002年10月、2003年2月開催)
地方セミナー開催費	¥1,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、スタッフ交通費等： 50万円×2回(2002年10月、2003年2月)
Web サービス関連セミナー費	¥1,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用等： 50万円×2回(2002年9月、2003年3月)
ホームページデザイン更新費	¥1,000,000	外注予定
ホームページ運用費	¥600,000	サーバーホスティング費(ML含む)： 4万円×15ヶ月(2002年4月～2003年6月)
部会支援金	¥1,500,000	各部会活動支援金 10万円×15ヶ月
広告宣伝費	¥2,700,000	雑誌広告 版下作成 掲載
業務委託費	¥15,750,000	事務局業務委託費用 105万円×15ヶ月
通信費 車両運搬費	¥750,000	TEL/FAX料金、郵便、宅急便等の費用： 5万円×15ヶ月
旅費交通費	¥300,000	2万円×15ヶ月
事務消耗品費	¥1,200,000	コピー機保守(カウンタ)費用、事務用品費用等： 8万円×15ヶ月
雑費	¥750,000	コピー機リース費用、振込手数料、書籍/ソフトウェア購入： 5万円×15ヶ月
予備費	¥280,278	
支出の部合計	¥36,430,278	

注 総会開催費は、2003年6月分も計上
部会支援金は、2003年5月まで計上
XML コンソーシアム Week 2003年5月まで計上

第 4号議案

2002 年度 理事 / 監事選任の件

XMLコンソーシアム

XMLコンソーシアム役員構成

【理事候補】

上野 守生 (ウエノ モリオ)

会 社 名： 亜細亜証券印刷株式会社
役 職： 代表取締役社長

下川 和男 (シモカワ カズオ)

会 社 名： イースト株式会社
役 職： 常務取締役

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)

会 社 名： インフォテリア株式会社
役 職： 代表取締役社長

Mark Batt (マーク バット)

会 社 名： 株式会社エーエスピー
役 職： 副社長 国際営業開発部担当

長野 宏宣 (ナガノ ヒロノブ)

会 社 名： NTTコムウェア株式会社
役 職： 取締役 BI 本部ビジネス企画部長

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)

会 社 名： NTTソフトウェア株式会社
役 職： 代表取締役社長

山田 伸一 (ヤマダ シンイチ)

会 社 名： 株式会社NTTデータ
役 職： ビジネス開発事業本部 基盤システム事業部 事業部長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)

会 社 名： 株式会社大塚商会
役 職： 取締役 Web 事業推進部

甲斐 英隆 (カイ ヒデタカ)

会 社 名： サン・マイクロシステムズ株式会社
役 職： 取締役 マーケティング・事業統括本部長

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)

会 社 名： 株式会社ジャストシステム
役 職： 代表取締役専務

金成 元夫 (カネナリ ユキオ)

会 社 名： 東芝ITソリューション株式会社
役 職： 共通ソリューション第四部 担当部長

田原 春美 (タハラ ハルミ)

会 社 名： 日本アイ・ピー・エム株式会社
役 職： ソフトウェア事業部
エマーシング・テクノロジー担当 部長

西岡 伸一 (ニシオカ シンイチ)

会 社 名： 日本オラクル株式会社
役 職： 常務取締役 執行役員

笠原 裕 (カサハラ ヒロシ)

会 社 名： 日本電気株式会社
役 職： NEC ソリューションズ 開発研究本部インターネット
基盤開発本部 開発本部長

大鐘 久生 (オオガネ ヒサオ)

会 社 名： 日本ビューレット・パカード株式会社
役 職： ビジネスカスタマ事業統括本部 E-services 推進室 室長

丸山 修 (マルヤマ オサム)

会 社 名： 日本ユニシス株式会社
役 職： 執行役員 Eテクノロジー&サービス部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)

会 社 名： 株式会社日立製作所
役 職： ソフトウェア事業部 エグゼクティブプロジェクトマネージャ

山本 章治 (ヤマモト ショウジ)

会 社 名： 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役 職： 常務取締役 開発事業部 事業部長

浜 文男 (ハマ フミオ)

会 社 名： 富士ソフトABC 株式会社
役 職： 専務取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)

会 社 名： 富士通株式会社
役 職： プロジェクトA-XML プロジェクト長

三ヶ野原 敏郎 (ミカノハラ トシロウ)
会 社 名： マイクロソフト株式会社
役 職： 執行役員 社長室

【監事候補】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会 社 名： 株式会社ジャストシステム
役 職： 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会 社 名： ピーシーエー株式会社
役 職： 開発技術担当 CTO

第 5号議案

会員規約変更

XMLコンソーシアム

1.第 2 章 会 員 において、第 5 条の修正及び、第 47 条を追加し、特別会員を設置する。

第2章 会 員

(種別)

第5条 本会の会員は、XMLに関わる業務を営む法人の内、会費規定に定めた所定の会費を納めたものとする。但し、特に理事会の承認を得た場合にはこの限りでない。

また、本会の目的達成のため必要に応じて特別会員をおくことができる。

(特別会員)

第47条

本会は、特定の部会活動や委員会活動等を推進するために特別会員を置き、その支援を受けることができる。

2 特別会員への登録は理事会の承認を得て行なわれる。

3 特別会員への登録に際して会費の徴収はしない。

4 特別会員による議決権の行使は出来ない。

5 特別会員は予め理事会の了解を得て、運営委員会およびその下部組織である委員会に参加することができる。

6 特別会員は予め理事会の了解を得て、部会活動に参加することができる。

2.第7章 補足において、第43条を修正、追加し成果物の知的所有権関連規定を拡充する。

(成果物の取り扱い)

第43条 本会の活動により得られた成果物の認定は、理事会の承認による。

2 成果物は会員以外にも広く公開することを原則とする。

3 成果物の著作権(著作権法27条および28条に規定される権利を含む)は、当該成果物の表現のみならず成果物制作活動に関与した会員および本会との持分均等の共有とする。当該会員は部会その他の成果物制作活動の単位(以下、本条において「部会等」という)における相互の同意により選定される。当該会員が複数存在する場合には、当該会員間における持分配分は均等とする。共有者である会員は、当該成果物の全部または一部につき、他の共有者の了承および対価の支払なく自由に自ら著作権法に基づく利用(著作権法に基づく複製、翻案等を行うことをいい、以下同じ)を行い、あるいは第三者に著作権法に基づく利用を行わせることができるものとする。

4 当該成果物の著作権者である会員および本会は、本会の目的に鑑み、当該成果物に記載された内容のうち部会等における相互の同意により指定された範囲のものが変更されないこと、および出典が明示されることを前提に、本会および著作権者でない会員ならびに本会が当該成果物を一般に公開した場合の第三者が、当該成果物の全部または一部につき、著作権者である会員への対価の支払なく、著作権法に基づく利用を行うことを了承するものとする。

5 第3項の規定にかかわらず、成果物に会員が従前より保有する著作物が複製され、または翻案され含められた場合、当該著作物の著作権は当該会員に留保され、当該会員自身による著作権法に基づく利用は制約されないものとする。ただし、当該会員は、前項に規定された範囲において、本会、他の会員あるいは第三者が当該成果物に関する著作権法に基づく利用を行うことを了承するものとする。

6 成果物に係る著作者たる会員は当該各項において規定された範囲の著作権法に基づく利用に対しては著作者人格権を行使しないものとする。ただし、本会の同意がある場合はこの限りではない。

7 成果物への著作権表示等、取り扱いに関する細目は別途定めるものとする。

第 2 回総会議案書 添付資料

1 .2001 年度セミナー開催一覧.....	1
2 .2001 年度部会成果発表会開催一覧.....	3
3 .2001 年度部会開催一覧	4
4 .XML 普及祖調査アンケート集計結果.....	6
5 .2002 年度 XML コンソーシアム組織.....	7
6 .XML コンソーシアムにおける成果物の知的所有権関連規定.....	8
- 会員規則での規定	8
- 運用規則での規定	8
- 標準化プロセス規定.....	9
7 .2002 年度部会活動計画	11
- 基盤技術部会活動要綱	11
- 応用技術部会活動要綱	13
- モデル研究部会活動要綱.....	15
- VoiceXML 部会活動要綱.....	16
- ドキュメント部会活動要綱.....	17
- ContactXML 部会活動要綱.....	18
8 .会員会社一覧.....	19

1.2001 年度セミナー開催一覧

開催回数	開催日	プログラム	場所 参加人数
設立総会 特別セミナー	2001 年 6 月 18 日	1) XML 標準化の最新動向と世界の産業界での取り組み (株)大塚商会 岡部 恵造 様 2) Web Service の時代における「セキュリティとセーフティ」 日本アイ・ピー・エム(株)丸山 宏 様	東京コンファレンスセンター 会 員 : 86 社 177 名 非会員 : 52 社 80 名 合 計 : 138 社 257 名
第 1 回 月例セミナー	2001 年 7 月 26 日	1) XML and Electronic Commerce」 Sun Microsystems Jon Bosak 様 2) 「Tasting SOAP-Early project experiences with Web Services」 IBM Anton Fricko 様	日本ユニシス(株) 会 員 : 60 社 108 名 非会員 : 56 社 61 名 合 計 : 116 社 169 名
第 2 回 月例セミナー	2001 年 9 月 17 日	1) 「XML入門」 日本ユニシス(株)小林茂 様 2) (財)ニューメディア開発協会における電子申請へのXML適用の取り組み」 (財)ニューメディア開発協会 富川直毅 様 3) 「XMLを用いた製品溯源参照サービス」 (株)日立製作所 松永栄夫 様 4) 「XMLドキュメントの動向・事例」 イースト(株)下川和男 様 (XMLコンソーシアム・ドキュメント部会リーダー)	北とびあ 会 員 : 93 社 142 名 非会員 : 17 社 17 名 合 計 : 110 社 159 名
第 3 回 月例セミナー	2001 年 10 月 12 日	1) SOAP,WSDL,UDDIなど Webサービスのためのテクノロジーと最新技術動向の概要」 インフォテリアネットワークス(株)吉松史彰 様 2) Webサービスの意味とインターネット社会へのインパクトについて」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 3) 「富士通の取り組み 事例紹介」 富士通(株)門間 仁 様 4) 「IBMの取り組み・事例紹介」 日本アイ・ピー・エム(株)米持 幸寿 様 5) 「MSの取り組み・事例紹介」 マイクロソフト(株)熊谷 恒治 様 6) Webサービス推進委員会 立ち上げと、今後の活動のご紹介」 XMLコンソーシアム運営委員会有志	住商情報システム(株) 会 員 86 社 114 名 非会員 : 4 社 4 名 合 計 90 社 118 名
第 4 回 月例セミナー	2001 年 11 月 5 日	1) Webサービスの現在と未来」 (株)日立製作所 秋藤 俊介 様 2) 「Java と Visual Basic を利用した Webサービスの実装」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 本 俊也 様 3) 「Webサービスの開発とセキュリティ」 日本アイ・ピー・エム(株)米持 幸寿 様 4) HP の Webサービス戦略 ~e-speak から web services platformへ」 日本ビュレット・パッカード(株)服部 省治 様 5) 「流通業B2Bにおける ebXML TRP適用検証」 日本電気(株)伊波 通晴 様 6) Webサービスによる辞書検索システムの構築事例紹介」 イースト(株)下川 和男 様	日本アイ・ピー・エム(株) 会 員 : 70 社 144 名 非会員 : 13 社 14 名 合 計 : 83 社 158 名
第 5 回 月例セミナー	2001 年 12 月 11 日	1) Service on Demandを実現する Sun ONE(Open Net Environment)の概要」 サン・マイクロシステムズ(株)関 谷 宏 様 2) BEAシステムズが実現する Webサービスの概要」 日本 BEAシステムズ(株)伊 藤 敬 様 3) 「オラクルの Webサービス」 日本オラクル(株)鈴木 潤一 様 4) Webサービス, UDDI, 実ビジネス・システム適用の有効性検証」 日本ユニシス(株)牧野 友紀 様	住商情報システム(株) 会 員 : 54 社 96 名 非会員 : 11 社 12 名 合 計 : 65 社 108 名
第 6 回 月例セミナー	2002 年 1 月 24 日	1) XML2001 カンファレンス参加報告 - 使える XML 標準を目指して」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 2) ContactXML 部会設立のご紹介」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 3) XML を適用したマルチリンガル版マニュアル制作の事例」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 増井 章二 様 4) Oracle による XML 文書の全文検索」 日本オラクル(株) 秋本 尚吾 様 5) XML 専用全文検索エンジン Zelkova」 インフォテリアネットワークス(株) 高根 英哉 様 6) 「ドキュメントシステムにおける XML 事例紹介」 (株)日立製作所 大塚みち子 様	(株)日立製作所 会 員 : 62 社 112 名 非会員 : 14 社 16 名 合 計 : 76 社 128 名

第 2 回 総 会 議 案 書
添 付 資 料

開催回数	開催日	プログラム	場所 参加人数
第7回 月例セミナー	2002年 2月21日	1) BizEngine によるロゼッタネット・ウェブサービス構築事例のご紹介 NECソリューションズ 里見 明彦 様	日本アイ・ピー・エム(株) 会 員 : 52社 95名 非会員 : 12社 13名 合 計 : 64社 108名
		2) 「開事例紹介 : SOAP を使った辞書検索サービス」 イースト株式会社 下川 和男 様・渋谷 誠 様	
		3) Webサービス技術検証プロジェクト事例 体験報告」 株式会社アイ・ティ・フロンティア 西元 信雄 様	
第8回 月例セミナー	2002年 3月19日	1) BtoB インターネット決済システムへのSOAPの適用」 株式会社NTTデータ 福田 靖 様	日本アイ・ピー・エム(株) 会 員 : 50社 75名 非会員 : 17社 17名 合 計 : 67社 92名
		2) XML で実現する普及型電子購買システムの実装と展望」 ビズネット株式会社 清水 秀隆 様	
		3) SunTechDays レビュー」 サン・マイクロシステムズ株式会社 高橋 成吉 様 日本 BEA システムズ (株) 伊藤 敬 様 日本オラクル(株) 鈴木 潤一 様	
第9回 月例セミナー	2002年 4月19日	1) WSDL 相互運用性テスト報告 ～ Web Services Interoperability Forum における実証実験～」 日本アイオナテクノロジー株式会社 グローバル・サービス 主席コンサルタント小野沢 博文 様	日本ユニシス(株) 会 員 : 82社 140名 非会員 : 26社 27名 合 計 : 108社 167名
		2) バイオ分野におけるXMLの応用事例 ～ BSML とXML Genomic Suite DB のご紹介～」 株式会社CRCソリューションズ 応用システム事業部 バイオインフォマティクス推進チーム 安中 敏男 様	
		3) 「ネイティブ XML サーバー Tamino 3.1」 株式会社ビーコンIT プロダクトマーケティング 田中 聡 様	
		4) XML ネイティブデータベースエンジン『ggdrasil (イグドラシル)』～大容量 高速検索 2 バイト文字対応など高機能でコストパフォーマンスに優れたデータベースエンジン ～」 株式会社メディアフュージョン XML企画営業グループ 前場 大輔 様	
		5) XMLの可能性を最大限に引き出すXMLデータサーバ『Xcelon XIS』～最高データベース 賞に輝く、XIS によるXMLアプリケーション構築のキー・ポイント～」 日本エクセロン株式会社 ソリューション エンジニア 武末 徹也 様	
		6) XML データベース連携開発ツール『Connector, iMaker, Zerkova」 インフォテリア株式会社 製品技術部 井下田 久幸 様	
		7) XML全文検索エンジンBTONIC」 イースト株式会社 常務取締役 下川 和男 様	
		8) XML 電子カタログを活用した次世代型コンフィグレーションエンジン 「ConfigPro」 PFU アクティブラボ株式会社 アライアンスビジネス部 プロジェクト課長 楨本 力也 様	
		9) 「サービスベースアプリケーションプラットフォーム SonicXQ」 株式会社オージス総研 オブジェクトテクノロジーソリューション部 正田 壘 様	
		10) XML アプリケーション構築プラットフォーム DataSpider(R) シリーズ」 株式会社アプレッソ 営業部 大島 幸男 様	

2.2001 年度部会成果発表会開催一覧

開催回数	開催日	プログラム	場所 参加人数
第1回 XMLコンソーシアムDay	2001年 11月22日	1) 「組込みXMLの可能性：なぜ必要なのか、何のために使うのか」 富士電機(株)梅崎 一也 様	日本教育会館 会 員 : 71社 126名 非会員 : 28社 29名 合 計 : 99社 155名
		2) 「ニュース用XMLの世界標準"NewsML":メディア業界におけるXMLの取り組みと規格内容」 (株)朝日新聞社 竹原 大祐 様 日本アイ・ピー・エム(株)藤原 隆弘 様	
		3) XMLコンテンツ規格の動向 SGMLからXMLへ～ドキュメントからコンテンツへ～」 ネクストソリューション(株)加藤 上直 様	
		4) SVG-DOMによる豊かなクライアントXML表現力 XHTML-SVG 中心の複合文書の可能性」 (株)ファミック 大坂 哲司 様 法政大学エクステンション・カレッジ 野村 直之 様 (Justsystem, Technology Advisor)	
		5) VoiceXML 概説:VoiceXMLの基礎」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様	
		6) 「VoiceXML 最新事例:日本初!音声ポータルサービス Voizi(ボイジー)」 日本テレコム(株)遠藤 聡子 様	
		7) 「ビジネス報告言語 XBRL 概要:～財務情報サプライチェーンをめざすXBRLの紹介～」 日本ユニシス(株)小林 茂 様 (株)日立製作所 湯浦克彦 様	
		8) 「図解XML規格(セキュリティ編):～セキュリティ関連XML規格の最新動向～」 沖電気工業(株)池上 勝美 様	
		9) 「パネル討論 Webサービスの光と陰」 パネラー: 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 松下 嘉哉 様 モデレータ: 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様	
第2回 XMLコンソーシアムDay	2002年 2月6日	1) 「NewsMLでの外字表現を考える」 日本アイ・ピー・エム(株)藤原 隆弘 様	コクヨホール 会 員 :103社 241名 非会員 :57社 64名 合 計 :160社 305名
		2) 「XMLニュース検索アプリケーション」 日本ユニシス(株)小林 茂 様 読売新聞社 三宅 学 様	
		3) 「RDBを用いたXML差分管理」 NTTソフトウェア(株)山本 浩一 様	
		4) 「Webサービスによる簡易ナレッジマネジメントの実装例」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様	
		5) 「VoiceXML部会活動紹介」 (株)日立製作所 禰寝 義人 様	
		6) 「Webサービスの関連技術動向」 日本ユニシス(株)牧野 友紀 様	
		7) 「XMLスキーマの主な機能と用途」 情報技術開発 高橋 洋 様 ジャストシステム(株)赤井 靖雄 様	
		8) 「Webサービス推進委員会報告」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様	
		9) 「Webサービスのビジネスモデルと、ワークフロー言語調査結果」 日本 BM(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 前田 隆之 様 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様	
		10) 「ContactXML部会紹介」 インフォテリア(株)吉政 忠志 様	

3.2001 年度部会開催一覧

基盤技術部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2001年7月9日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	14:45 ~ 16:15
第2回	2001年8月23日	日本ユニシス本社 6階 セミナーA	13:30 ~ 17:00
第3回	2001年9月20日	日本ユニシス本社 ビル5階 501会議室	13:30 ~ 17:00
第4回	2001年10月18日	株式会社ジェー・アイ・イー・シー本社ビル15階	13:30 ~ 17:00
第5回	2001年11月15日	株式会社ジェー・アイ・イー・シー本社ビル15階	13:30 ~ 17:00
第6回	2001年12月20日	日本ユニシスビル6階Aルーム	14:30 ~ 20:00
第7回	2002年1月17日	日本ユニシス本社 ビル5階 501会議室	13:30 ~ 17:00
第8回	2002年2月21日	日本ユニシス本社 ビル29階中1会議室	13:30 ~ 17:00
第9回	2002年3月29日	日本ユニシス本社 ビル6階Aルーム会議室	13:30 ~ 17:00
第10回	2002年4月18日	日本ユニシス本社 ビル6階Aルーム会議室	13:30 ~ 17:00
第11回	2002年5月24日	株式会社ジェー・アイ・イー・シー本社ビル15階	13:30 ~ 17:00

応用技術部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2001年7月9日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	13:00 ~ 14:30
第2回	2001年7月27日	日本ユニシス本社 5階 コニスプラザ セミナーBルーム	13:30 ~
第3回	2001年8月30日	NTTコムウェア社 五反田ビル 11階 第一、第二会議室	13:15 ~ 17:45
第4回	2001年9月27日	日本ユニシス 513 会議室	13:15 ~ 17:30
第5回	2001年10月25日	NTTコムウェア本社 17階 第23会議室	13:15 ~ 17:00
第6回	2001年11月20日	日本ユニシス 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	13:00 ~ 17:30
第7回	2001年12月18日	日本アイ・ピー・エム株式会社 東京物流センタ 会議室	13:00 ~ 17:30
第8回	2002年1月24日	日本ユニシス 本社 6階 セミナールームA	13:00 ~ 18:00
第9回	2002年2月28日	富士通 本社 本社ビル20階 ルーム10	13:30 ~ 16:30
第10回	2002年3月28日	NTTコムウェア本社 17階 第23会議室	13:15 ~ 17:30
第11回	2002年4月25日	日本ユニシス本社 ビル6階 セミナーAルーム会議室	13:15 ~ 16:30
第12回	2002年5月23日	富士通恵比寿ビル 2F 第2セミナールーム	13:15 ~ 16:30

モデル研究部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2001年7月9日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	16:30 ~ 18:00
第2回	2001年7月27日	NTTソフトウェア 横浜本社新館2階 N210 N211 会議室	13:30 ~ 16:00
第3回	2001年8月30日	NTTコムウェア社 五反田ビル 11階 第一、第二会議室	13:30 ~ 16:00
第4回	2001年9月21日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	13:30 ~ 16:30
第5回	2001年10月19日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210 N211 会議室	13:30 ~ 17:00
第6回	2001年11月12日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	13:30 ~ 17:00
第7回	2001年12月21日	NTTソフトウェア横浜本社新館	13:30 ~ 17:00
第8回	2002年1月25日	日本ユニシス本社 6階 コニスプラザ セミナーAルーム	13:30 ~ 17:00
第9回	2002年3月8日	日本ユニシス本社 29階大会議室	13:30 ~ 17:00
第10回	2002年4月12日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210 N211 会議	13:30 ~ 17:00
第11回	2002年5月8日	日本アイ・ピー・エム株式会社箱崎事業所 8階 819 会議室	13:30 ~ 17:00

VoiceXML 部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2001年7月10日	日本アイ・ピー・エム株式会社 本社 オーディトリウム	14:30 ~ 17:00
第2回	2001年8月7日	日立システムプラザ新川崎 2F 講堂	14:30 ~ 17:45
第3回	2001年9月20日	沖電気工業 5号別館 1F 特別会議室	14:30 ~ 17:30
第4回	2001年11月19日	日本アイ・ピー・エム株式会社 本社 オーディトリウム	14:30 ~ 17:35
第5回	2001年12月21日	株式会社富士通研究所明石研究所 1F ホール	14:30 ~ 17:35
第6回	2002年2月13日	マイクロソフト 調布支庁センター 7階 Main Conference Room	14:30 ~ 17:30
第7回	2002年4月18日	NEC 本社ビル 地下 多目的ホール	14:00 ~ 17:30

ドキュメント部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2001年6月26日	日本アイ・ピー・エム株式会社 箱崎事業所	13:30 ~ 15:00
第2回	2001年8月29日	日本アイ・ピー・エム株式会社 飯倉事業所 会議室LB01	15:00 ~ 18:00
第3回	2001年10月3日	日本アイ・ピー・エム株式会社 東京物流センター	15:00 ~ 18:00
第4回	2001年11月6日	日本オラクル株式会社	15:00 ~ 18:00
Page2002 併設セミナー	2002年2月7日	池袋 サンシャイン文化会館 会議室 7F 710号室	13:30 ~ 16:30

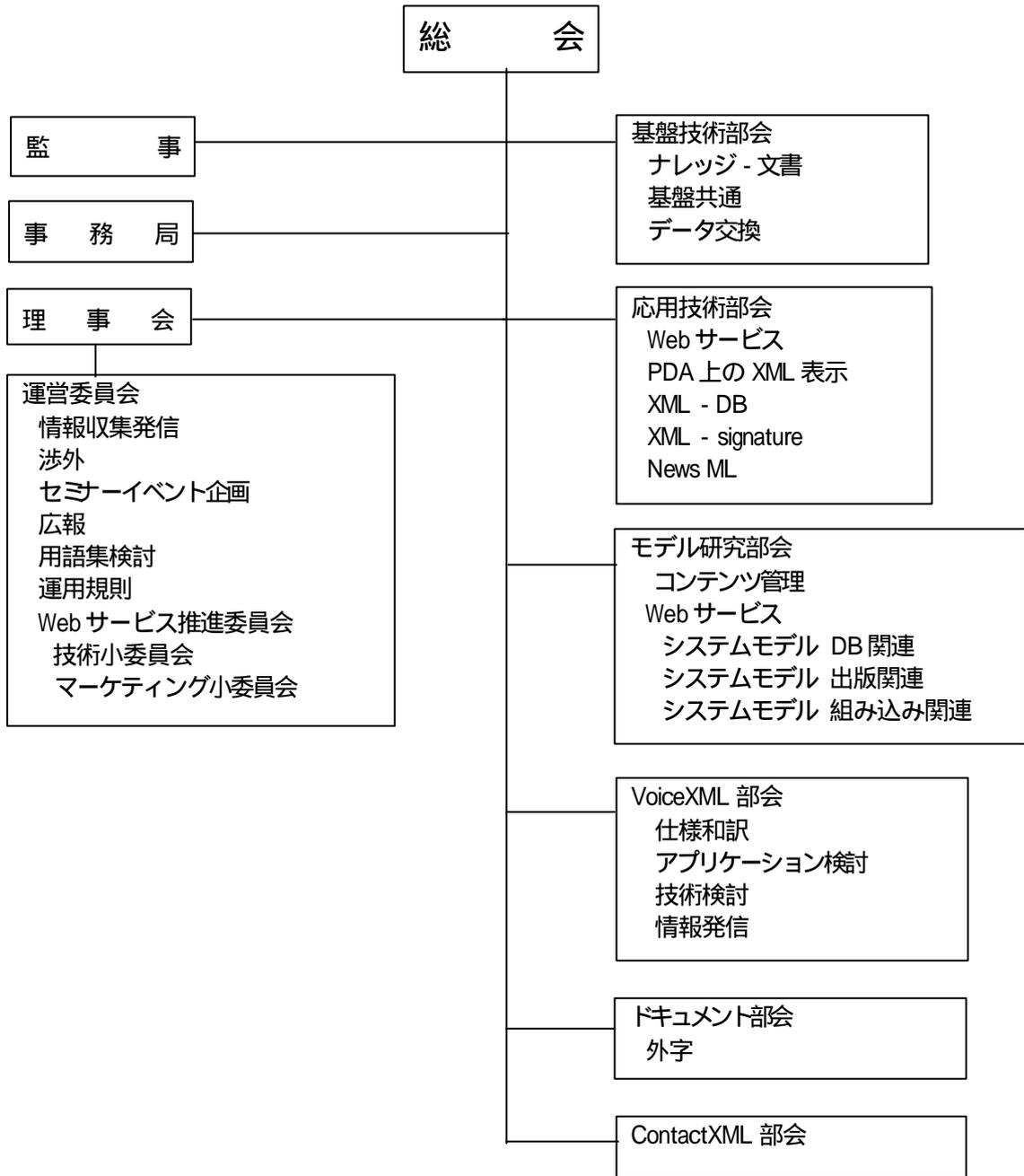
ContactXML部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2002年1月24日	インフォテリア株式会社本社	14:00 ~ 16:30

4.XML 普及祖調査アンケート集計結果

6 .2002年度 XMLコンソーシアム組織

XMLコンソーシアム組織体制



6.XML コンソーシアムにおける成果物の知的所有権関連規定

1.会員規則での規定

(成果物の取り扱い)

第43条 本会の活動により得られた成果物の認定は、理事会の承認による。

2 成果物は会員以外にも広く公開することを原則とする。

3 成果物の著作権(著作権法27条および28条に規定される権利を含む)は、当該成果物の表現のみならず成果物制作活動に関与した会員および本会との持分均等の共有とする。当該会員は部会その他の成果物制作活動の単位(以下、本条において「部会等」という)における相互の同意により選定される。当該会員が複数存在する場合には、当該会員間における持分配分は均等とする。共有者である会員は、当該成果物の全部または一部につき、他の共有者の了承および対価の支払なく自由に自ら著作権法に基づく利用(著作権法に基づく複製、翻案等を行うことをいし、以下同じ)を行い、あるいは第三者に著作権法に基づく利用を行わせることができるものとする。

4 当該成果物の著作権者である会員および本会は、本会の目的に鑑み、当該成果物に記載された内容のうち部会等における相互の同意により指定された範囲のものが変更されないこと、および出典が明示されることを前提に、本会および著作権者でない会員ならびに本会が当該成果物を一般に公開した場合の第三者が、当該成果物の全部または一部につき、著作権者である会員への対価の支払なく、著作権法に基づく利用を行うことを了承するものとする。

5 第3項の規定にかかわらず、成果物に会員が従前より保有する著作物が複製され、または翻案され含められた場合、当該著作物の著作権は当該会員に留保され、当該会員自身による著作権法に基づく利用は制約されないものとする。ただし、当該会員は、前項に規定された範囲において、本会、他の会員あるいは第三者が当該成果物に関する著作権法に基づく利用を行うことを了承するものとする。

6 成果物に係る著作者たる会員は当該各項において規定された範囲の著作権法に基づく利用に対しては著作者人格権を行使しないものとする。ただし、本会の同意がある場合はこの限りではない。

7 成果物への著作権表示等、取り扱いに関する細目は別途定めるものとする。

(知的財産権)

第44条 会員は本会の活動において、会員が従前より保有する特許権または実用新案権に基づく提案、発言等を行うに際しては、当該特許権または実用新案権を放棄する必要はないものとする。この場合、提案者、発言者は提案、発言等が成果物に認定された時、これを利用しようとする者の要請に応じ、公平、合理的かつ非差別的条件下で非独占的実施権を許諾しなければならない。

2 本会の活動において会員が提供・開示する情報は原則として公知の情報として扱う。

(実施細則)

第45条 この規則の実施に関して必要な事項は、会長が理事会の議決を得て、別途定めるものとする。

2.運用規則での規定

(著作権表示)

第1条 成果物には著作権及び利用条件の表示をおこなう。以下にサンプルを示す。

Copyright c XML コンソーシアム 2002 All rights reserved.

Copyright c 株式会社 2002 All rights reserved.

Copyright c 株式会社 2002 All rights reserved.

Copyright c 株式会社 2002 All rights reserved.

利用条件

本書は、本書に記載した要件・技術・方式に関する内容が変更されないこと、および出典を明示いただくことを前提に、無償でその全部または一部を複製、翻案、翻訳、転記、引用、公衆送信等して利用できます。なお、全体を複製、翻案、翻訳された場合は、本書にある著作権表示および利用条件を明示してください。

本書の著作権者は、本書の記載内容に関して、その正確性、商品性、利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、特許権、著作権、その他の権利を侵害していないことを保証するものでもありません。本書の利用により生じた損害について、本書の著作権者は、法律上のいかなる責任も負いません。

-
- 2 著作権表示は成果物の著作権者である会員とXML コンソーシアム双方を付記する。
 - 3 著作権者である全員の同意がある場合には XML コンソーシアム単独の著作権表記をおこなう。

3. XML コンソーシアムによる標準化プロセス規定

本ドキュメントは、XML コンソーシアムにおける XML ボキャブラリの標準化活動を行うためのプロセスを定めることを目的とする。本ドキュメントで述べる「標準化」の範囲は、XML 規格をベースとして開発されるボキャブラリ仕様に限定し、この範囲に収まらないものは本標準化プロセスでは扱わない。標準化プロセスは以下の段階を経る。

- (1) 受付
- (2) プロセス開始審査
- (3) 部会発足
- (4) 部会による標準化作業 部会による投票 勧告案
- (5) 会員への告知と理事会の承認 勧告

1) 受付

- (1) XML コンソーシアム事務局にて提案を受け付ける。
- (2) 受付にあたっては、以下の項目を満たしていること。
 - 提案内容が会員企業を含む第三者の著作権の侵害がないことを確認していること。
 - 成果物は、広く一般に仕様を公開し、無償での使用*注を認めることを前提としていること。
 - *注 但し、著作権法上の権利以外の権利の行使による場合を除く
 - 部会活動の場合に5社以上の参加が見込めること。(見込み企業および担当者名を提出。)
 - 成果物や内容が公序良俗および法律に反したものでないこと。
 - 部会となった場合のリーダー氏名が明確になっていること。

2) プロセス開始審査

- (1) 理事会にて、事務局が受け付けた標準化申請が「XML コンソーシアムにおける標準化が妥当かどうか」を審査・承認する。

3) 部会発足

- (1) 審査通過から30日以内に部会を発足する。
- (2) 部会発足後、事務局から会員企業にアナウンスし、参加を募る。

4) 部会による標準化作業

- (1) 標準化作業の進捗ステータスを以下の通りに分ける。

ドラフト (Working Draft)
部会にて作業中の仕様
勧告案 (Proposed Recommendation)
実装実験などを行う版。
勧告 (Recommendation)

最終版。

(2) 進捗ステータスの更新プロセスを以下の通りとする。

「ドラフト」から「勧告案」となるための要件
部会の投票で有効投票数の2 / 3以上の賛成を得ること。
「勧告案」から「勧告」となるための要件
全会員に告知、公開し意見を求めること。
理事会で会員からの意見を検討し承認を行うこと。

5) 勧告

- (1) 「勧告」は、本標準化プロセスに基づく標準化の成果物で、仕様書として固定化されたものを指す。
- (2) 「勧告」となった仕様書は、XMLコンソーシアムのWebサイト(部会のWebサイトを含む)に掲載する。
- (3) 「勧告」となった仕様書の著作権は、会則に基づきXMLコンソーシアムと成果物制作活動に関与した会員との持分均等の共有とする。
- (4) XMLコンソーシアムおよび著作権者である会員は、「勧告」となった仕様書に関して、会員企業を含む第三者の特許権、著作権、その他の権利を侵害しないことを保証するものではない。
- (5) 「勧告」となった仕様書の内容が、「勧告」後に会員企業を含む第三者の権利に抵触することが発覚した場合には、理事会の承認により仕様書の改定または廃止をすることができる。
- (6) 「勧告」となった仕様書は、バージョン番号をつけて管理することとする。

7.2002年度 部会活動計画

1.基盤技術部会活動要綱

目的

・XML に関わる基盤技術を調査・研究し、ML 基盤技術の理解を深め、利用促進を促進する

活動内容

・XML 基盤技術の収集

- 国内外の基盤規格に関する情報収集
W3C,OASIS,XML.COM 等
- 基盤規格に関する活用例, ノウハウ等の収集
- 基盤規格に関連する最新技術情報、動向等の調査
- 基盤規格に対する実装系の調査 評価

・XML コンソーシアム内の他部会との協調による XML 活用情報の収集

- XML 関連の応用技術情報、ビジネス情報と基盤技術との関連性の調査

・XML 基盤技術を利用した応用可能性の研究

- 新たな基盤技術に対する応用可能性を研究し、実ビジネスへの足がかりを掴む

例えば、

- XSLT,XPath の高度な利用法の追求
 - XLink の効果的な利用法の追求
 - 利用側から見た高度な API の実現性の追求
 - 複合文書の実ビジネスでの応用可能性の追求
 - XHTML モジュールの効果的な利用形態の追求
 - XML Schema を駆使した新たな利用形態の追求
- 等々

・XML 基盤技術の普及 推進

- 定例セミナー 総会等での発表
- 基盤技術に関するニュースの定期的発信
- Web ページによる情報の発信
技術の概要紹介、活用例の紹介
- XML 関連の用語 語彙の紹介

活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
 - Working Group 別の月例ミーティングの開催
 - メンバーによるセミナーの開催、外部セミナーへの参画
 - メールングリスト活用による日々の情報交換、Q&A 等

他部会との連携

- ・大学、学会、研究機関との連携

活動成果

・XML 関連情報・ノウハウの取得

- XML 関連 Web サイトによる市場動向の把握
活動成果を Web サイトに掲載し、参照件数・傾向等からその技術に対する関心度、動向を探る等を把握する。
- 新たな XML 基盤技術の最新情報を的確に掴み、その方向性、活用性等の情報を早めに獲得し、実ビジネスに結びつける手がかりの獲得
- 参加企業間での情報交換・人的/ビジネス・ネットワークの構築

参加資格

・XML コンソーシアムの会員でXML(特に基盤技術)に高い関心を有すること
・定例ミーティング又はメールリングリスト 総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

スケジュール概要

平成14年7月,平成14年度第1回部会ミーティング開催予定
平成14年8月以降,月1回月例部会ミーティング開催

2. 応用技術部会活動要綱

目的

- ・XML を実システムに適用するにあたり、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見するとともに公開し、XML 技術の向上および普及に努める。
- また、新しい技術(規格)の提案を目指す。

活動内容

・プロタイピング

- XML 応用規格の利用方法に関する評価
- 例： ・SMLSignature の API の性能評価及び統一化検討
- ・XSLT 利用技術検討
- ・XPath 利用技術検討
- XML 応用規格を利用したプロトタイプシステム開発
- 例： ・SVG 利用システム
- ・SMIL 利用システム
- ・XMLSchema 利用システム
- 実用システムのプロトタイプ開発
- 例： ・教育システム
- ・データ交換システム
- ・コンテンツ管理システム
- ・ポータルシステム

・XML 関連プロダクトの評価

- XML 関連のプロダクトのリストアップ(維持)
- プロダクトの分野別評価
- 例： ・利用者の意見の反映手法の考察
- ・DOM パーサの性能評価

・XML 応用技術の普及・推進

- 定例セミナー(総会等)での発表
- 学会、雑誌等での発表
- Web ページによる情報の発信
- 評価結果及びプロトタイプの紹介
- 製品紹介セミナーの開催

活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
 - Working Group 別の月例ミーティングの開催
 - 製品紹介セミナーの開催
 - メールングリスト活用による日々の情報交換、Q&A 等
- 他部会との連携

活動成果

・XML 関連情報・ノウハウの取得

- 評価・プロタイピング

作成した評価報告書およびプロトタイプのソースコードの作成と公開

- 製品紹介

各企業での製品利用のきっかけに利用してもらう

- 参加企業間での情報交換・人的/ビジネス・ネットワークの構築

情報公開

- Web サイトでの評価報告・プロトタイプの公開
- 学会、雑誌等での発表

参加資格

- ・XML コンソーシアムの会員でXML(特に応用技術)に高い関心を有すること
- ・定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

スケジュール概要

- ・年間2,3回の総会を実施する
- ・月1回程度の定例ミーティングの開催
- ・XML コンソーシアムとしてのイベント等に参加

3. モデル研究部会活動要綱

目的

XML 関連の事例の収集や、フレームワーク規格等の分析を通じ、活用ノウハウを蓄積するとともに、新しい適用分野やアーキテクチャモデル、ビジネスモデルを提案する。

活動内容

・XML 応用規格 / 技術 / 事例について、テーマ毎の収集・分析・評価

(例)

・コンテンツ管理分野

- マルチメディアを含む各種コンテンツ関連の標準・製品・事例収集と分析、適用モデル検討

・Web サービス関連

- Web サービスの事例収集 / 分析
- 既存システムへの Web サービス適用検討
- Web サービス B2B を含むデータ交換系応用全般のビジネスモデル検討

・システムモデル

- モデル論 (DB 連携、メッセージング、半構造データ)
- 新サービス (組込み応用、出版 / 電子申請) への適用モデル検討

・XML 活用の普及・推進

- 雑誌・イベント・総会等での発表
- Web ページによる、応用規格 / 製品 / 事例に関する情報の発信
- 事例セミナーの企画・開催
- XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進

活動方法

部会全体ミーティング、Working Group 別ミーティングの開催

・メーリングリスト活用による日々の情報交換、ディスカッション

他部会、他団体との連携

活動成果

・XML 関連情報・ノウハウの取得

- 新たな XML の事例・応用規格の最新情報を的確に掴み、その方向性・活用性等の情報を早く獲得し、実ビジネスに結びつける手がかりを獲得
- 参加企業間での情報交換・人的 / ビジネス・ネットワークの構築

情報公開

- Web サイト・雑誌・セミナー等での発表

参加資格

・XML コンソーシアムの会員で、XML の適用を考えている方および XML の動向・事例・アーキテクチャ等に高い関心のある方。

スケジュール概要

・月 1 回程度の定例ミーティングの開催 (事例紹介セミナーも同時開催)

・XML コンソーシアムとしてのイベント等に参加

4.VoiceXML 部会活動要綱

目的

- ・VoiceXML の普及促進
- ・VoiceXML のスキルの蓄積とメンバー間での情報共有を図る
- ・VoiceXML を利用した音声適用業務の開発及び利用促進

活動内容

- ・VoiceXML に関する情報交換、研修会、関連製品紹介、応用事例紹介
- ・VoiceXML 関連製品の評価
- ・最新技術動向収集
- ・VoiceXML を使用した音声適用業務構築スキルの蓄積
- ・VoiceXML を使用した音声適用業務モデルの作成
- ・VoiceXML 仕様の検討

活動計画

- ・定例ミーティング実施(原則:月一回程度)
- ・テーマごとの活動
- ・セミナー開催

成果物

- ・VoiceXML 関連スキル、ノウハウの取得、蓄積
- ・適用業務モデル検討
- ・VoiceXML 関連市場の拡大
- ・VoiceXML に関する資料全般

参加資格

- ・XML コンソーシアムの会員で、音声関連業務等への VoiceXML の適用に関心のある方。
- ・定例ミーティングまたはメーリングリスト 総会・セミナー実施等の部会の活動に参加可能なこと。

スケジュール概要

- ・月一回ペースでのミーティングを予定。

5. ドキュメント部会活動要綱

目的

公官庁、市町村、企業、出版社などが保有するドキュメントやコンテンツに関する XML 標準技術の調査研究と、XML 化されたドキュメントやコンテンツの編集、蓄積、交換、検索、配信、公開などで必要なツールやサービス、ノウハウの調査、研究、紹介を行います。

活動内容

- ・XML ドキュメントやコンテンツに関する情報交換、研修会、関連製品紹介、応用事例紹介
- ・ドキュメントやコンテンツの XML 化や XML ドキュメント関連製品の評価
- ・ドキュメントならびにコンテンツ系スキーマの調査と紹介
- ・ドキュメントならびにコンテンツに関する XML 標準技術の調査研究

活動計画

- ・定例部会ミーティング実施 (原則 月一回程度)
- ・テーマごとの活動 (各テーマごとに WG を形成し活動をおこなう)
- ・部会セミナー開催 (原則 定例ミーティングの枠の中でおこなう)

成果物

- ・XML ドキュメントならびにコンテンツ関連スキル、ノウハウの取得、蓄積
- ・XML ドキュメントならびにコンテンツ関連製品市場の拡大
- ・XML ドキュメントならびにコンテンツに関する標準技術の認識向上

参加資格

- ・XML コンソーシアムの会員で XML ドキュメントやコンテンツに高い関心を有すること
- ・定例ミーティング又はメーリングリスト 総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

WG活動

- ・外字 WG :各種 XML スキーマ内で、外字をどのように表現するかを検討する

提携団体 (セミナーの共同開催と協賛)

- 日本電子出版協会 <http://www.jepa.or.jp>
- XML 化研究委員会
- XML Publishing Forum <http://www.xmlpub-j.org>

6. ContactXML 部会活動要綱

目的

- ・ContactXML 仕様に関する開発 制定 情報公開 情報交換等の活動を通じ ContactXML 仕様の普及 啓蒙活動を行う
- ・ContactXML 仕様を活用したビジネスへのマーケティングによる後方支援を行う

活動内容

- ・ContactXML 仕様の開発 制定 標準化
- ・ContactXML の適用研究 事例収集
- ・ContactXML 仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会運営
- ・HR-XML など、国内外の他コンソーシアムとの連携協力
- ・その他、ContactXML 仕様の普及 啓蒙活動全般

活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
 - ・メンバーによるセミナーの開催、外部セミナーへの参画
 - ・メーリングリスト活用による日々の情報交換、Q&A 等
- 他部会との連携
他関連団体との連携

活動成果

- ・ContactXML Version1.1 のリリース
- ・ContactXML API のリリース
- ・ContactXML 仕様のさらなるブラッシュアップ
- ・ContactXML 実装例を増やし、普及に努める
- ・HR-XML 等の関連他団体との協調に務め、相互普及に努める

参加資格

ContactXML 仕様の普及を推進するという目的のもとに、XML ビジネスに関わり かつ XML コンソーシアムに加入している有志法人もしくは団体とする。

スケジュール概要

2002/6

- ContactXML Ver.1.1 勧告案申請
- ContactXML Ver.1.1 発表

2002/X

- ContactXML API 追加開発
- HR-XML との協業
- 国際郵便連合の住所情報の標準化活動との連動

その他定例会

8. 会員会社一覧 (2002年5月31日現在 会社名五十音順)

項番	会社名	項番	会社名
1	株式会社アーケインターナショナル	51	株式会社エヌ ティ・ティ・ドコE
2	IT エンジニアリング株式会社	52	株式会社エヌ ティ・ティ・ドコE東海
3	株式会社 IDG ジャパン	53	株式会社エヌビーシーシステムドットコム
4	株式会社アイフィスジャパン	54	エブソンコーワ株式会社
5	株式会社アイフォー	55	株式会社 MITシステム研究所
6	有限会社アイリンク	56	株式会社 エムティーアイ
7	アイログ株式会社	57	株式会社エルコム
8	株式会社アクセスネット	58	株式会社エルザ
9	アクセラテクノロジ株式会社	59	株式会社オージス総研
10	株式会社アグレックス	60	株式会社大塚商会
11	旭化成株式会社	61	有限会社オオツカ商事
12	朝日新聞社	62	沖電気工業株式会社
13	亜細亜証券印刷株式会社	63	オブティマムシステムズ株式会社
14	アシストマイクロ株式会社	64	オムロン株式会社
15	アットインフィニティ株式会社	65	オムロン ネットワーク アプリケーションズ株式会社
16	株式会社アドイン研究所	66	株式会社開発計算センター
17	株式会社アドス	67	花王株式会社
18	アトラス情報サービス株式会社	68	川鉄情報システム株式会社
19	株式会社アプレッソ	69	株式会社紀伊國屋書店
20	株式会社アラソ	70	共同印刷株式会社
21	株式会社アルファシステムズ	71	(社) 共司通信社
22	株式会社アレフ ビジネス・システムズ	72	株式会社クリックス
23	アンリツエンジニアリング株式会社	73	株式会社クレオ
24	イースト株式会社	74	株式会社クレスコ
25	イー・ナウ	75	株式会社国際マイクロ写真工業社
26	伊藤忠テクノサイエンス株式会社	76	コベルコシステム株式会社
27	茨城日立情報サービス株式会社	77	株式会社コムスクエア
28	株式会社 今人	78	コンパックコンピュータ株式会社
29	Imaging Portals, Inc.	79	株式会社コンピュータソフトサービス
30	インテュイット株式会社	80	サントリー株式会社
31	インフォコム株式会社	81	株式会社産能コンサルティング
32	インフォテリア株式会社	82	サン・マイクロシステムズ株式会社
33	ウェブソフト・インターナショナル株式会社	83	株式会社 CRC ソリューションズ
34	株式会社エイアンドティー	84	シーアイエス株式会社
35	株式会社エイチ・オー・エス	85	有限会社シーこむ
36	株式会社永和システムマネジメント	86	株式会社ジェー・アイ・イー・シー
37	株式会社エーエスピー	87	株式会社ジェス
38	有限会社エオサイト	88	(株)時事通信社
39	株式会社エクサ	89	システム・コンサルタンツ株式会社
40	株式会社エックスオン・テックス	90	株式会社システムサイエンス研究所
41	株式会社エニイ	91	システムポート株式会社
42	NEC システムテクノロジー(株)	92	株式会社シナジー・インキュベート
43	NEC ソフト株式会社	93	シナプスフォン株式会社
44	NEC メディアプロダクツ株式会社	94	株式会社ジャステック
45	NTT アイティ株式会社	95	株式会社ジャストシステム
46	NTT アドバンステクノロジ株式会社	96	株式会社ジャネット
47	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社	97	昌栄印刷株式会社
48	NTT コムウェア株式会社	98	有限会社翔コピーセンター
49	NTTソフトウェア株式会社	99	情報技術開発株式会社
50	株式会社 NTT データ	100	情報電子株式会社

項番	会社名	項番	会社名
101	株式会社シンクプラン	151	日本テレコム株式会社
102	信興テクノミスト	152	日本アイオナテクノロジー株式会社
103	スカイ・シンク・システム株式会社	153	日本アイ・ピー・エム株式会社
104	株式会社スパイナルコード	154	日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社
105	住商情報システム株式会社	155	日本アウトソース株式会社
106	住友金属システムソリューションズ	156	日本アパイア株式会社
107	住友セメントシステム開発株式会社	157	日本エクセロン株式会社
108	スリーエープランニング株式会社	158	日本オラクル株式会社
109	株式会社スリーディー	159	日本銀行
110	セイコーエプソン株式会社	160	日本経済新聞社
111	株式会社セゾン情報システムズ	161	株式会社日本構研システムズ
112	株式会社セック	162	株式会社日本事務サービス
113	総合オフィス サポート株式会社	163	日本情報通信コンサルティング株式会社
114	株式会社ソフトヴィジョン	164	日本電気株式会社
115	ソレキア株式会社	165	日本ヒューレット・パッカート株式会社
116	タクシア株式会社	166	日本 BEA システムズ株式会社
117	多産 技術	167	日本ユニシス株式会社
118	株式会社タジマ	168	日本ユニシス・ソフトウェア株式会社
119	蝶理情報システム株式会社	169	ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社
120	株式会社都築ソフトウェア	170	株式会社ニューズ・ツ・ユー
121	都築電気株式会社	171	ネクストソリューション株式会社
122	翼システム株式会社	172	株式会社ネット・タイム
123	TIS 株式会社	173	株式会社野村総合研究所
124	D&I 情報システム株式会社	174	パシフィックシステム株式会社
125	ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社	175	株式会社発明通信社
126	ドイツーイーソー株式会社	176	株式会社 PFU
127	株式会社 データ変換研究所	177	PFU アクティブラボ株式会社
128	株式会社テクノアート	178	株式会社ビーコン IT
129	テクマトリックス株式会社	179	ビーコンシステム株式会社
130	デジタルハリウッド株式会社	180	株式会社ビジュアルジャパン
131	テンプスタッフ株式会社	181	日立 NSソフトウェア株式会社
132	東京システムハウス株式会社	182	日立インターメディックス株式会社
133	株式会社東芝	183	株式会社日立インフォメーションアカデミー
134	東芝 IT ソリューション株式会社	184	株式会社日立エイチ・ピー・エム
135	東芝情報システム株式会社	185	日立公共システムエンジニアリング株式会社
136	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	186	株式会社日立システムアンドサービス
137	ドコモ・システムズ株式会社	187	株式会社日立製作所
138	凸版印刷株式会社	188	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
139	トッパン・フォームズ株式会社	189	日立通信システム株式会社
140	株式会社トッパン・マルチソフト	190	株式会社 日立ハイテクノロジー
141	株式会社富山富士通	191	ヒューレット・パッカート・ソリューションデリバリー(株)
142	株式会社ナカハラプリンテックス	192	広島商船高等専門学校
143	株式会社ニコラテスラ	193	株式会社フィオンス
144	日外アソシエーツ株式会社	194	フジオーネ・テクノ・ソリューションズ株式会社
145	ニチメンコンピュータシステムズ株式会社	195	株式会社フジシステムズ
146	株式会社ニックス	196	富士ゼロックス株式会社
147	日進ソフトウェア	197	富士ゼロックス情報システム株式会社
148	日新電機株式会社	198	富士ソフトABC 株式会社
149	日本システムウエア株式会社	199	富士通株式会社
150	日本情報通信株式会社	200	富士通エフ・アイ・ピー株式会社

項番	会社名
201	富士通オフィス機器株式会社
202	株式会社富士通研究所
203	株式会社富士通ビジネスシステム
204	株式会社富士通ラーニングメディア
205	富士電機株式会社
206	富士電機総設株式会社
207	株式会社フジミック
208	プライスウォーターハウスクーパース・コンサルタント株式会社
209	株式会社フライト
210	プラットアイス株式会社
211	株式会社プリズム
212	ブレインセラーズ・ドットコム株式会社
213	株式会社 文久堂
214	ベイス・テクノロジー株式会社
215	有限会社ベネスト
216	法規書籍印刷株式会社
217	株式会社ホンヤク出版社
218	マークプライス株式会社
219	マイクロソフト株式会社
220	マイクロソフト プロダクト ディベロップメントリミテッド
221	毎日新聞社
222	松下電器産業株式会社
223	松下電送システム株式会社
224	三井情報開発株式会社
225	三菱電機エンジニアリング株式会社
226	ミノルタ株式会社
227	ミリオン株式会社
228	株式会社明電舎
229	株式会社メディアフュージョン
230	株式会社 山武
231	横河電機株式会社
232	株式会社読売新聞社
233	株式会社ライトウェル
234	株式会社リコー
235	リコーシステム開発株式会社
236	リコーテクノシステムズ株式会社
237	理想科学工業株式会社
238	株式会社リョーイン
239	株式会社ワイ・エス・ピー

2002年5月31日現在 入会申請中
 ・株式会社 電通国際情報サービス
 ・エクスト株式会社

XML コンソーシアム事務局

〒130-0022

東京都墨田区江東橋 2-19-7 富士ソフトABC ビル

e Mail xmlcons@fsi.co.jp

Tel 03-5600-6205